

問1 明治政府が士族に対して禁止した、身分を象徴する武器の所持を何という？

1. 帯刀 2. 目安箱 3. 切腹 4. 徒党

問2 明治政府が全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた政策を断行した年は何年？

1. 1867年 2. 1868年 3. 1871年 4. 1869年

問3 明治政府が国民から兵士を確保するために発布した、満20歳以上の男子に兵役の義務を課した法令を何という？

1. 地租改正 2. 学制 3. 徴兵令 4. 秩禄処分

問4 明治初期、全権大使として欧米へ渡り、帰国後は国内の近代化を優先する政策を進めた人物は誰？

1. 木戸孝允 2. 岩倉具視 3. 西郷隆盛 4. 伊藤博文

問5 明治政府の新しい政策や税制度に対して、不満を持った農民たちが集団で起こした反乱や抵抗運動を何という？

1. 一揆 2. 打ちこわし 3. 強訴 4. 逃散

問6 県令とともに地方を直接統治する役割を担った、府を統治する役職を何という？

1. 参議 2. 公卿 3. 太政大臣 4. 府知事

問7 明治政府が廃藩置県を実施した年は何年？

1. 1873年 2. 1871年 3. 1868年 4. 1869年

問8 明治天皇が神々に誓う形で示し、政治の基本方針とした文書を何という？

1. 大日本帝国憲法 2. 政体書 3. 五箇条の御誓文 4. 五榜の揭示

問9 五箇条の御誓文で掲げられた、広く会議を起こして多数決で政治を決めることを表す言葉は？

1. 公論 2. 専制 3. 朝議 4. 封建

問10 戊辰戦争の舞台となった、北海道にある都市の名前は？

1. 横浜 2. 函館 3. 新潟 4. 長崎

問11 明治政府において、初代の内務大臣にあたる官職に就き、殖産興業を推進した役職を何という？

1. 参議 2. 太政大臣 3. 内務卿 4. 右大臣

問12 地租改正において、地租（税金）を決定する際の基準とされた土地の価格を何という？

1. 納税額 2. 収穫量 3. 地租率 4. 地価

問13 新政府軍と旧幕府軍が激突した、明治維新の戦いの発端となる年は何年？

1. 1868年 2. 1869年 3. 1867年 4. 1871年

問14 明治新政府が旧幕府軍との戦いに勝利し、全国を統一した一連の内戦を何という？

1. 西南戦争 2. 戊辰戦争 3. 日清戦争 4. 日露戦争

問15 戊辰戦争の最後の戦いとして、新政府軍と旧幕府軍が北海道で争った戦争を何という？

1. 上野戦争 2. 西南戦争 3. 箱館戦争 4. 会津戦争

問16 戊辰戦争において、旧幕府軍が最後に立てこもり、激戦の末に降伏した北海道の城郭は何という？

1. 江戸城 2. 首里城 3. 二条城 4. 五稜郭

答え合わせ・解説

問1	答え 1 帯刀	1876年の「廃刀令」により、公務中を除き士族が刀を腰に差すこと（帯刀）が禁止されました。これにより、武士の象徴が取り払われ、士族と平民の身分的な境界が形式的にも解消されました。
問2	答え 4 1869年	1869年、薩摩・長州・土佐・肥後の四藩主らが主導し、版籍奉還が行われました。これにより、藩主は藩知事に任命されましたが、領地と領民の支配権を天皇（政府）に返上することとなりました。
問3	答え 3 徴兵令	1873年に出されたこの法令により、満20歳以上の男子は兵役の義務を負うことになりました。これにより、武士だけが戦う時代は終わり、国民皆兵の体制が整えられました。
問4	答え 2 岩倉具視	1871年に岩倉具視を全權大使とする使節団が派遣されました。帰国後の岩倉は、海外渡航で痛感した日本の遅れを挽回するため、性急な対外拡大を抑え、国内の近代化と富国强兵を優先する方針を確立しました。
問5	答え 1 一揆	これらの急激な社会変革に対し、農民たちは「一揆」を起こして学校を焼き払ったり、役所を襲撃したりして不満を表明しました。特に新制度導入直後の混乱期には、各地でこうした抵抗運動が多発しました。
問6	答え 4 府知事	明治政府は東京・京都・大阪などの主要な都市を「府」とし、そこを治める長官として府知事を任命しました。また、その他の地方は「県」とされ、同様の役割を持つ県令が派遣されました。これらは中央政府の命令を地方に伝える行政の末端機関としての機能を持ちました。
問7	答え 2 1871年	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。藩を完全に廃止し、中央政府が任命した府知事や県令が地域を治める体制へ移行しました。これにより、地方の力は中央へと集中されることになりました。
問8	答え 3 五箇条の御誓文	1868年に発表された「五箇条の御誓文」は、新しい国家建設の理念を明文化したものです。「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節は、広く意見を募り、合議によって政治を決定するという民主的な方向性を示した画期的な内容でした。
問9	答え 1 公論	「公論」とは、五箇条の御誓文の第一条にある「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という言葉に含まれる概念です。これは、特定の支配層だけで物事を決めるのではなく、広く会議を開き、多くの人々の意見を聞いて議論を通じて結論を出すという、近代的な民主主義の芽生えを示す方針です。
問10	答え 2 函館	
問11	答え 3 内務卿	1873年に設置された内務省の長官を内務卿と呼びます。初代の内務卿には大久保利通が就任し、殖産興業政策を強力に推進しました。このポストは後の内閣制度における内務大臣へと引き継がれました。
問12	答え 4 地価	明治6年（1873年）の地租改正により、土地の生産性を評価して地価が決定されました。この地価を基に、土地の所有者が地価の3%を現金で納税する仕組みが確立されました。これにより、豊作・凶作に関わらず政府は一定の収入を確保できるようになりました。
問13	答え 1 1868年	1868年、京都近郊の鳥羽・伏見において、新政府軍と旧幕府軍が激突しました。この戦いをきっかけに、日本各地を巻き込む戊辰戦争が本格化しました。当時の近代兵器を備えた新政府軍の勝利により、武力による政治の主導権が新政府側に確定しました。
問14	答え 2 戊辰戦争	1868年の鳥羽・伏見の戦いから始まり、東北地方、最後は北海道の箱館まで続いた内戦を指します。近代的な軍制を整えた新政府軍が、旧幕府の残存勢力を次々と制圧しました。この戦いを通じて、日本は武家による封建制から、天皇を頂点とする近代的な統一国家へと大きく舵を切ることになりました。
問15	答え 3 箱館戦争	新政府軍はこれを反乱とみなし、陸海軍を投入して討伐を行いました。函館周辺の各地で激戦が繰り広げられ、最終的に旧幕府軍が降伏することで戊辰戦争は幕を閉じました。
問16	答え 4 五稜郭	五稜郭は、江戸時代末期に築造された日本初の本格的な西洋式城郭です。榎本武揚を中心とする旧幕府軍は、ここを拠点に「蝦夷共和国」の樹立を試みましたが、新政府軍の総攻撃を受けました。1869年に降伏し、戊辰戦争は完全に終結しました。

問1 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度を発布した年はいつ？

1. 1872 2. 1873 3. 1874 4. 1871

問2 五箇条の御誓文で掲げられた、広く会議を起こして多数決で政治を決めることを表す言葉は？

1. 専制 2. 封建 3. 朝議 4. 公論

問3 1871年、明治政府が近代制度を学ぶために欧米へ派遣した使節団を何という？

1. 遣明船 2. 遣唐使 3. 岩倉使節団 4. 天正遣欧使節

問4 地租改正の際、土地の所有者に発行され、所有権を証明するために使われた書類を何という？

1. 秩禄処分 2. 地券 3. 徴兵令 4. 学制

問5 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ること宣言した出来事を何という？

1. 王政復古の太号令 2. 五箇条の御誓文 3. 大政奉還 4. 廃藩置県

問6 近代的な工場や産業の現場で、専門的な技能を用いて生産や開発を指導した人を何という？

1. 教育者 2. 軍事顧問 3. 技術者 4. 宣教師

問7 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣して全国を直接統治した改革が行われたのは何年？

1. 1867年 2. 1871年 3. 1869年 4. 1868年

問8 戊辰戦争の終盤に、五稜郭を拠点として新政府軍に最後まで抗戦した幕府側の軍隊を何という？

1. 長州藩兵 2. 新政府軍 3. 薩摩藩兵 4. 旧幕府軍

問9 明治政府が近代化のために進めた、産業を興して生産力を高めようとする政策を何という？

1. 殖産興業 2. 地租改正 3. 学制 4. 廃藩置県

問10 「天は人の上に人を造らず」という一節で始まる、福沢諭吉が執筆した啓蒙書を何という？

1. 福翁自伝 2. 学問のすゝめ 3. 西洋事情 4. 明六雑誌

問11 1871年からの身分制度の廃止により、かつての武士・農民・職人・商人の区別がなくなったことを何という？

1. 地租改正 2. 廃藩置県 3. 四民平等 4. 学制発布

問12 1867年、江戸幕府第15代将軍として政権を朝廷に返上した人物は誰？

1. 徳川家慶 2. 徳川家茂 3. 徳川家定 4. 徳川慶喜

問13 地租改正において、地租（税金）を決定する際の基準とされた土地の価格を何という？

1. 地価 2. 収穫量 3. 納税額 4. 地租率

問14 戊辰戦争において、旧幕府軍が最後に立てこもり、激戦の末に降伏した北海道の城郭は何という？

1. 江戸城 2. 首里城 3. 五稜郭 4. 二条城

問15 大政奉還や王政復古の太号令の後、新政府軍と旧幕府軍が激突した戦いを何という？

1. 会津戦争 2. 鳥羽・伏見の戦い 3. 箱館戦争 4. 上野戦争

問16 欧米諸国に並ぶ国力を養うために明治政府が掲げた、国力を高める政策の合言葉を何という？

1. 殖産興業 2. 廃藩置県 3. 文明開化 4. 富国強兵

答え合わせ・解説

問1	答え 1 1872	1872年、政府は全国的な学校制度である「学制」を発布しました。この制度により、身分に関わらずすべての子供が教育を受ける機会を得ることを目指しました。
問2	答え 4 公論	「公論」とは、五箇条の御誓文の第一条にある「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という言葉に含まれる概念です。これは、特定の支配層だけで物事を決めるのではなく、広く会議を開き、多くの人々の意見を聞いて議論を通じて結論を出すという、近代的な民主主義の芽生えを示す方針です。
問3	答え 3 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を全権大使とし、大久保利通や伊藤博文らが参加しました。一行はアメリカを経てヨーロッパ各国を回り、工場や議会、教育制度などを視察しました。日本が近代化するために必要な多くの知識を持ち帰りました。
問4	答え 2 地券	1873年の地租改正で、政府は土地所有者に地券を交付しました。これに基づき、地価の3%を現金で納税する仕組みとなりました。この制度は、税収を予測可能にする画期的なものでした。
問5	答え 1 王政復古の大号令	1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川将軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。
問6	答え 3 技術者	彼ら技術者は、官営模範工場などで日本の作業員に最新の機械操作や設計技術を教えました。理論だけでなく、実地での教育を行うことで、日本における工業化の基礎を築く役割を果たしました。
問7	答え 2 1871年	1871年、明治政府は断固とした姿勢で廃藩置県を断行しました。従来の藩をすべて廃止して県を設置し、中央から知事を派遣することで、国家が直接国民を統治するシステムを確立しました。この改革により、江戸時代から続いた大名による領主制が完全に終わりを迎えました。
問8	答え 4 旧幕府軍	榎本武揚や土方歳三らが率いる彼らは、最新の兵器を備え、西洋式の城郭である五稜郭に立てこもって激しく戦いました。しかし、物量に勝る新政府軍に包囲され、力尽きて降伏しました。
問9	答え 1 殖産興業	政府は最新の機械や技術を輸入し、官営模範工場を建設するなどしてモデルとなる産業を育成しました。また、交通網としての鉄道や電信の整備も積極的にを行い、民間企業の成長を後押ししました。
問10	答え 2 学問のすゝめ	『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が人々に平等と学問の重要性を説くために著した書物です。「天は人の上に人を造らず」という言葉で有名で、人間は生まれながらに平等であり、自らの知性を磨くことで独立した個人となるべきだと説きました。
問11	答え 3 四民平等	「四民平等」は、かつて区別されていた士農工商の身分をなくし、すべての国民を法的に平等に扱う考え方です。これに伴い、平民の姓を持つことや、居住や職業の自由が認められるようになりました。
問12	答え 4 徳川慶喜	徳川慶喜は、政権を朝廷に返上することで徳川家を中心とした新たな政治体制を築こうと画策し、1867年に大政奉還を断行しました。これにより約260年続いた江戸幕府は終焉を迎えました。
問13	答え 1 地価	明治6年（1873年）の地租改正により、土地の生産性を評価して地価が決定されました。この地価を基に、土地の所有者が地価の3%を現金で納税する仕組みが確立されました。これにより、豊作・凶作に関わらず政府は一定の収入を確保できるようになりました。
問14	答え 3 五稜郭	五稜郭は、江戸時代末期に築造された日本初の本格的な西洋式城郭です。榎本武揚を中心とする旧幕府軍は、ここを拠点に「蝦夷共和国」の樹立を試みましたが、新政府軍の総攻撃を受けました。1869年に降伏し、戊辰戦争は完全に終結しました。
問15	答え 2 鳥羽・伏見の戦い	1868年1月、京都南郊の鳥羽・伏見で両軍が衝突しました。軍勢力では勝ると思われた幕府軍でしたが、薩長軍が掲げた天皇の象徴である「錦の御旗」により、新政府側が官軍と認定され、幕府軍は賊軍として敗走しました。
問16	答え 4 富国強兵	明治政府は「富国強兵」を国家の基本政策に掲げました。経済面では殖産興業を進めて資本主義の土台を作り、軍事面では徴兵令などを通じて近代的な軍隊を創設しました。

問1 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣することで地方支配を強化した明治政府の政策を何という？

1. 廃藩置県 2. 版籍奉還 3. 徴兵令 4. 地租改正

問2 明治政府の徴兵制において、兵役の義務の対象となった男子の年齢は満何歳？

1. 18歳 2. 30歳 3. 25歳 4. 20歳

問3 戊辰戦争の最後の戦いとして、新政府軍と旧幕府軍が北海道で争った戦争を何という？

1. 上野戦争 2. 箱館戦争 3. 西南戦争 4. 会津戦争

問4 1867年、江戸幕府第15代将軍として政権を朝廷に返上した人物は誰？

1. 徳川家慶 2. 徳川家茂 3. 徳川慶喜 4. 徳川家定

問5 明治政府が国家の統一を図るため、地方の権限を政府の中心に集中させた体制を何という？

1. 中央 2. 幕府 3. 地方 4. 藩

問6 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？

1. 五箇条の御誓文 2. 王政復古の大号令 3. 大政奉還 4. 廃藩置県

問7 明治天皇が神に誓う形式で「五箇条の御誓文」を発表した年は何年？

1. 1867年 2. 1869年 3. 1871年 4. 1868年

問8 明治政府が士族に対して禁止した、身分を象徴する武器の所持を何という？

1. 目安箱 2. 切腹 3. 帯刀 4. 徒党

問9 近代的な工場や産業の現場で、専門的な技能を用いて生産や開発を指導した人を何という？

1. 技術者 2. 教育者 3. 軍事顧問 4. 宣教師

問10 明治政府が、欧米列強の植民地化を防ぎ、独立を維持するために掲げた国家政策を何という？

1. 廃藩置県 2. 文明開化 3. 殖産興業 4. 富国強兵

問11 明治初期、西洋の生活様式や文化が取り入れられ、急速に社会が近代化した風潮を何という？

1. 元禄文化 2. 国風文化 3. 文明開化 4. 化政文化

問12 地租改正の際、土地の所有者に発行され、所有権を証明するために使われた書類を何という？

1. 秩禄処分 2. 地券 3. 徴兵令 4. 学制

問13 明治政府が掲げた、経済を発展させて軍隊を強化するという政策のスローガンを何という？

1. 富国強兵 2. 廃藩置県 3. 文明開化 4. 殖産興業

問14 戊辰戦争の終盤に、五稜郭を拠点として新政府軍に最後まで抗戦した幕府側の軍隊を何という？

1. 長州藩兵 2. 旧幕府軍 3. 新政府軍 4. 薩摩藩兵

問15 明治天皇が神々に誓う形で示し、政治の基本方針とした文書を何という？

1. 大日本帝国憲法 2. 政体書 3. 五榜の掲示 4. 五箇条の御誓文

問16 明治新政府が旧幕府軍との戦いに勝利し、全国を統一した一連の内戦を何という？

1. 日清戦争 2. 西南戦争 3. 戊辰戦争 4. 日露戦争

答え合わせ・解説

問1	答え 1 廃藩置県	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。全国の藩を廃止して府や県に改め、中央から政府が選んだ官吏である知事を派遣することで、国家による直接統治を実現しました。
問2	答え 4 20歳	1873年の徴兵令により、満20歳になった男子に対して兵役の義務が課されました。これにより、それまでの武士の特権であった軍事活動が国民全体に広げられました。
問3	答え 2 箱館戦争	新政府軍はこれを反乱とみなし、陸海軍を投入して討伐を行いました。函館周辺の各地で激戦が繰り広げられ、最終的に旧幕府軍が降伏することで戊辰戦争は幕を閉じました。
問4	答え 3 徳川慶喜	徳川慶喜は、政権を朝廷に返上することで徳川家を中心とした新たな政治体制を築こうと画策し、1867年に大政奉還を断行しました。これにより約260年続いた江戸幕府は終焉を迎えました。
問5	答え 1 中央	中央集権とは、政府の中枢が地方に対しても強力な支配権を持ち、全国一律の制度で統治する体制です。廃藩置県により藩を廃止して県を置いたことで、中央政府が任命した知事が地方を治める形が整いました。
問6	答え 2 王政復古の大号令	1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川将軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。
問7	答え 4 1868年	1868年、明治天皇が神々に誓う形式で「五箇条の御誓文」が発表されました。ここには、身分を問わず広く会議を興すこと、知識を世界に求めることなど、新しい近代国家の目指すべき姿勢が示されています。
問8	答え 3 帯刀	1876年の「廃刀令」により、公務中を除き士族が刀を腰に差すこと（帯刀）が禁止されました。これにより、武士の象徴が取り払われ、士族と平民の身分的な境界が形式的にも解消されました。
問9	答え 1 技術者	彼ら技術者は、官営模範工場などで日本の作業員に最新の機械操作や設計技術を教えました。理論だけでなく、実地での教育を行うことで、日本における工業化の基礎を築く役割を果たしました。
問10	答え 4 富国強兵	富国強兵は、近代的な産業を育てて税収を増やし、強力な軍隊を持つという政策です。この方針に基づき、地租改正による財源確保や、官営模範工場の設立、徴兵制の実施などが強力に推進されました。
問11	答え 3 文明開化	服装、髪型、食生活が変化し、レンガ造りの建物や新聞、郵便制度が登場しました。特に「学制」の施行や「太陽暦」の採用により、国民の生活や意識も近代的に変わっていきました。
問12	答え 2 地券	1873年の地租改正で、政府は土地所有者に地券を交付しました。これに基づき、地価の3%を現金で納税する仕組みとなりました。この制度は、税収を予測可能にする画期的なものでした。
問13	答え 1 富国強兵	富国強兵とは、産業を育成して経済を豊かにし（富国）、軍備を拡張して防衛力を高める（強兵）という政策です。殖産興業による工場の建設や、徴兵令による軍隊の近代化がこの方針の下で進められました。
問14	答え 2 旧幕府軍	榎本武揚や土方歳三らが率いる彼らは、最新の兵器を備え、西洋式の城郭である五稜郭に立てこもって激しく戦いました。しかし、物量に勝る新政府軍に包囲され、力尽きて降伏しました。
問15	答え 4 五箇条の御誓文	1868年に発表された「五箇条の御誓文」は、新しい国家建設の理念を明文化したものです。「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節は、広く意見を募り、合議によって政治を決定するという民主的な方向性を示した画期的な内容でした。
問16	答え 3 戊辰戦争	1868年の鳥羽・伏見の戦いから始まり、東北地方、最後は北海道の箱館まで続いた内戦を指します。近代的な軍制を整えた新政府軍が、旧幕府の残存勢力を次々と制圧しました。この戦いを通じて、日本は武家による封建制から、天皇を頂点とする近代的な統一国家へと大きく舵を切ることになりました。

問1 1867年、江戸幕府第15代将軍として政権を朝廷に返上した人物は誰？

1. 徳川慶喜 2. 徳川家茂 3. 徳川家慶 4. 徳川家定

問2 明治政府が士族に対して禁止した、身分を象徴する武器の所持を何という？

1. 目安箱 2. 帯刀 3. 切腹 4. 徒党

問3 五箇条の御誓文で掲げられた、広く会議を起こして多数決で政治を決めることを表す言葉は？

1. 専制 2. 朝議 3. 公論 4. 封建

問4 明治政府が中央集権化を進めるため、全国の藩主に命じて土地と人民を天皇へ返還させた制度を何という？

1. 四民平等 2. 廃藩置県 3. 大政奉還 4. 版籍奉還

問5 県令とともに地方を直接統治する役割を担った、府を統治する役職を何という？

1. 府知事 2. 公卿 3. 参議 4. 太政大臣

問6 明治政府が国力を高め、軍事力を強化して列強に並ぼうとした国家方針を何という？

1. 和魂洋才 2. 殖産興業 3. 文明開化 4. 富国強兵

問7 1871年、明治政府が近代制度を学ぶために欧米へ派遣した使節団を何という？

1. 遣明船 2. 遣唐使 3. 岩倉使節団 4. 天正遣欧使節

問8 明治天皇が神々に誓う形で示し、政治の基本方針とした文書を何という？

1. 大日本帝国憲法 2. 五箇条の御誓文 3. 政体書 4. 五榜の掲示

問9 明治政府の新しい政策や税制度に対して、不満を持った農民たちが集団で起こした反乱や抵抗運動を何という？

1. 一揆 2. 打ちこわし 3. 強訴 4. 逃散

問10 明治政府が全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた政策を断行した年は何年？

1. 1867年 2. 1869年 3. 1868年 4. 1871年

問11 明治政府において、初代の内務大臣にあたる官職に就き、殖産興業を推進した役職を何という？

1. 参議 2. 太政大臣 3. 内務卿 4. 右大臣

問12 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣することで地方支配を強化した明治政府の政策を何という？

1. 地租改正 2. 版籍奉還 3. 徴兵令 4. 廃藩置県

問13 新政府軍と旧幕府軍が激突した、明治維新の戦いの発端となる年は何年？

1. 1868年 2. 1869年 3. 1867年 4. 1871年

問14 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度を発布した年はいつ？

1. 1874 2. 1872 3. 1873 4. 1871

問15 明治政府が国民から兵士を確保するために発布した、満20歳以上の男子に兵役の義務を課した法令を何という？

1. 地租改正 2. 学制 3. 徴兵令 4. 秩禄処分

問16 大政奉還や王政復古の大号令の後、新政府軍と旧幕府軍が激突した戦いを何という？

1. 会津戦争 2. 箱館戦争 3. 上野戦争 4. 鳥羽・伏見の戦い

答え合わせ・解説

問1	答え 1 徳川慶喜	徳川慶喜は、政権を朝廷に返上することで徳川家を中心とした新たな政治体制を築こうと画策し、1867年に大政奉還を断行しました。これにより約260年続いた江戸幕府は終焉を迎えました。
問2	答え 2 帯刀	1876年の「廃刀令」により、公務中を除き士族が刀を腰に差すこと（帯刀）が禁止されました。これにより、武士の象徴が取り払われ、士族と平民の身分的な境界が形式的にも解消されました。
問3	答え 3 公論	「公論」とは、五箇条の御誓文の第一条にある「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という言葉に含まれる概念です。これは、特定の支配層だけで物事を決めるのではなく、広く会議を開き、多くの人々の意見を聞いて議論を通じて結論を出すという、近代的な民主主義の芽生えを示す方針です。
問4	答え 4 版籍奉還	明治政府は中央集権体制を確立するため、1869年に藩主から土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させました。これにより、名目上は全ての土地と人民が天皇のものとなりました。旧藩主は政府から知事に任命されましたが、実権は次第に中央へと移行していきます。
問5	答え 1 府知事	明治政府は東京・京都・大阪などの主要な都市を「府」とし、そこを治める長官として府知事を任命しました。また、その他の地方は「県」とされ、同様の役割を持つ県令が派遣されました。これらは中央政府の命令を地方に伝える行政の末端機関としての機能を持ちました。
問6	答え 4 富国強兵	経済発展を目指す「殖産興業」と、強力な軍隊を育成する「富国強兵」をセットで推進しました。これにより、鉄道の整備、官営工場の設立、徴兵制の施行など、多角的な近代化策が実行されました。
問7	答え 3 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を全権大使とし、大久保利通や伊藤博文らが参加しました。一行はアメリカを経てヨーロッパ各国を回り、工場や議会、教育制度などを視察しました。日本が近代化するために必要な多くの知識を持ち帰りました。
問8	答え 2 五箇条の御誓文	1868年に発表された「五箇条の御誓文」は、新しい国家建設の理念を明文化したものです。「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節は、広く意見を募り、合議によって政治を決定するという民主的な方向性を示した画期的な内容でした。
問9	答え 1 一揆	これらの急激な社会変革に対し、農民たちは「一揆」を起こして学校を焼き払ったり、役所を襲撃したりして不満を表明しました。特に新制度導入直後の混乱期には、各地でこうした抵抗運動が多発しました。
問10	答え 2 1869年	1869年、薩摩・長州・土佐・肥後の四藩主らが主導し、版籍奉還が行われました。これにより、藩主は藩知事に任命されましたが、領地と領民の支配権を天皇（政府）に返上することとなりました。
問11	答え 3 内務卿	1873年に設置された内務省の長官を内務卿と呼びます。初代の内務卿には大久保利通が就任し、殖産興業政策を強力に推進しました。このポストは後の内閣制度における内務大臣へと引き継がれました。
問12	答え 4 廃藩置県	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。全国の藩を廃止して府や県に改め、中央から政府が選んだ官吏である知事を派遣することで、国家による直接統治を実現しました。
問13	答え 1 1868年	1868年、京都近郊の鳥羽・伏見において、新政府軍と旧幕府軍が激突しました。この戦いをきっかけに、日本各地を巻き込む戊辰戦争が本格化しました。当時の近代兵器を備えた新政府軍の勝利により、武力による政治の主導権が新政府側に確定しました。
問14	答え 2 1872	1872年、政府は全国的な学校制度である「学制」を発布しました。この制度により、身分に関わらずすべての子供が教育を受ける機会を得ることを目指しました。
問15	答え 3 徴兵令	1873年に出されたこの法令により、満20歳以上の男子は兵役の義務を負うことになりました。これにより、武士だけが戦う時代は終わり、国民皆兵の体制が整えられました。
問16	答え 4 鳥羽・伏見の戦い	1868年1月、京都南郊の鳥羽・伏見で両軍が衝突しました。軍事力では勝ると思われた幕府軍でしたが、薩長軍が掲げた天皇の象徴である「錦の御旗」により、新政府側が官軍と認定され、幕府軍は賊軍として敗走しました。

問1 明治初期、西洋の生活様式や文化が取り入れられ、急速に社会が近代化した風潮を何という？

1. 文明開化 2. 国風文化 3. 化政文化 4. 元禄文化

問2 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返したことを何という？

1. 王政復古 2. 版籍奉還 3. 大政奉還 4. 廃藩置県

問3 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度を発布した年はいつ？

1. 1874 2. 1873 3. 1871 4. 1872

問4 地租改正において、地租（税金）を決定する際の基準とされた土地の価格を何という？

1. 納税額 2. 地価 3. 収穫量 4. 地租率

問5 明治天皇が神々に誓う形で示し、政治の基本方針とした文書を何という？

1. 五箇条の御誓文 2. 政体書 3. 大日本帝国憲法 4. 五榜の揭示

問6 1867年、江戸幕府第15代将軍として政権を朝廷に返上した人物は誰？

1. 徳川家慶 2. 徳川家茂 3. 徳川家定 4. 徳川慶喜

問7 1871年からの身分制度の廃止により、かつての武士・農民・職人・商人の区別がなくなったことを何という？

1. 地租改正 2. 四民平等 3. 廃藩置県 4. 学制発布

問8 明治政府が廃藩置県を実施した年は何年？

1. 1868年 2. 1873年 3. 1871年 4. 1869年

問9 明治政府が、欧米列強の植民地化を防ぎ、独立を維持するために掲げた国家政策を何という？

1. 富国強兵 2. 廃藩置県 3. 殖産興業 4. 文明開化

問10 明治政府が国力を高め、軍勢力を強化して列強に並ぼうとした国家方針を何という？

1. 殖産興業 2. 富国強兵 3. 文明開化 4. 和魂洋才

問11 欧米諸国に並ぶ国力を養うために明治政府が掲げた、国力を高める政策の合言葉を何という？

1. 殖産興業 2. 廃藩置県 3. 文明開化 4. 富国強兵

問12 19世紀後半、欧米列強がアジアに進出する中で、日本が維持しようとした国家の状態を何という？

1. 自治 2. 連邦 3. 独立 4. 統合

問13 明治政府において、初代の内務大臣にあたる官職に就き、殖産興業を推進した役職を何という？

1. 内務卿 2. 太政大臣 3. 参議 4. 右大臣

問14 明治政府が全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた政策を断行した年は何年？

1. 1867年 2. 1868年 3. 1871年 4. 1869年

問15 明治初期、全権大使として欧米へ渡り、帰国後は国内の近代化を優先する政策を進めた人物は誰？

1. 木戸孝允 2. 西郷隆盛 3. 岩倉具視 4. 伊藤博文

問16 明治新政府が旧幕府軍との戦いに勝利し、全国を統一した一連の内戦を何という？

1. 西南戦争 2. 戊辰戦争 3. 日清戦争 4. 日露戦争

答え合わせ・解説

問1	答え 1 文明開化	服装、髪型、食生活が変化し、レンガ造りの建物や新聞、郵便制度が登場しました。特に「学制」の施行や「太陽暦」の採用により、国民の生活や意識も近代的に変わっていきました。
問2	答え 3 大政奉還	1867年、江戸幕府第15代将軍・徳川慶喜は、朝廷に対して政権を返上しました。これにより260年以上続いた江戸幕府は終わりを迎えました。慶喜は政権を返上することで、天皇を中心とした新しい政府の中でも自身の政治的地位を維持しようとする狙いもありました。
問3	答え 4 1872	1872年、政府は全国的な学校制度である「学制」を發布しました。この制度により、身分に関わらずすべての子供が教育を受ける機会を得ることを目指しました。
問4	答え 2 地価	明治6年（1873年）の地租改正により、土地の生産性を評価して地価が決定されました。この地価を基に、土地の所有者が地価の3%を現金で納税する仕組みが確立されました。これにより、豊作・凶作に関わらず政府は一定の収入を確保できるようになりました。
問5	答え 1 五箇条の御誓文	1868年に発表された「五箇条の御誓文」は、新しい国家建設の理念を明文化したものです。「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節は、広く意見を募り、合議によって政治を決定するという民主的な方向性を示した画期的な内容でした。
問6	答え 4 徳川慶喜	徳川慶喜は、政権を朝廷に返上することで徳川家を中心とした新たな政治体制を築こうと画策し、1867年に大政奉還を断行しました。これにより約260年続いた江戸幕府は終焉を迎えました。
問7	答え 2 四民平等	「四民平等」は、かつて区別されていた士農工商の身分をなくし、すべての国民を法的に平等に扱う考え方です。これに伴い、平民の姓を持つことや、居住や職業の自由が認められるようになりました。
問8	答え 3 1871年	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。藩を完全に廃止し、中央政府が任命した府知事や県令が地域を治める体制へ移行しました。これにより、地方の力は中央へと集中されることになりました。
問9	答え 1 富国強兵	富国強兵は、近代的な産業を育てて税収を増やし、強力な軍隊を持つという政策です。この方針に基づき、地租改正による財源確保や、官営模範工場の設立、徴兵制の実施などが強力に推進されました。
問10	答え 2 富国強兵	経済発展を目指す「殖産興業」と、強力な軍隊を育成する「富国強兵」をセットで推進しました。これにより、鉄道の整備、官営工場の設立、徴兵制の施行など、多角的な近代化策が実行されました。
問11	答え 4 富国強兵	明治政府は「富国強兵」を国家の基本政策に掲げました。経済面では殖産興業を進めて資本主義の土台を作り、軍事面では徴兵令などを通じて近代的な軍隊を創設しました。
問12	答え 3 独立	明治政府にとって最大の目標は、国家の独立を守り、欧米諸国と対等な立場に立つことでした。そのために、政治、経済、軍事のすべてにおいて近代化を急ぎ、西洋の新しい知識や技術を積極的に取り入れました。
問13	答え 1 内務卿	1873年に設置された内務省の長官を内務卿と呼びます。初代の内務卿には大久保利通が就任し、殖産興業政策を強力に推進しました。このポストは後の内閣制度における内務大臣へと引き継がれました。
問14	答え 4 1869年	1869年、薩摩・長州・土佐・肥後の四藩主らが主導し、版籍奉還が行われました。これにより、藩主は藩知事に任命されましたが、領地と領民の支配権を天皇（政府）に返上することとなりました。
問15	答え 3 岩倉具視	1871年に岩倉具視を全權大使とする使節団が派遣されました。帰国後の岩倉は、海外渡航で痛感した日本の遅れを挽回するため、性急な対外拡大を控え、国内の近代化と富国強兵を優先する方針を確立しました。
問16	答え 2 戊辰戦争	1868年の鳥羽・伏見の戦いから始まり、東北地方、最後は北海道の箱館まで続いた内戦を指します。近代的な軍制を整えた新政府軍が、旧幕府の残存勢力を次々と制圧しました。この戦いを通じて、日本は武家による封建制から、天皇を頂点とする近代的な統一国家へと大きく舵を切ることになりました。